

在校生支援

山桜会 会長 平泉 憲一 (茨木高25期)



山桜会では、2013年から在校生に対する支援活動を行っております。これは、在校生にとって親しみやすい、頼りになる卒業生の会であると感じて頂きたいという願いからです。

本年度も、各校長先生と相談のうえ、小学校には、「段ボール箱迷路」「ウォータークーラー2台」の贈呈、及び「音楽鑑賞会」実現の支援、追手門学院中高(茨木)には、「ジム用姿鏡」「グラウンドならし(2連式)」「グラウンド整備用トンボ」を贈呈いたしました。今後とも在校生にとって有意義な支援を続けていく所存です。



段ボール迷路 水谷 嘉浩 (小94期)

在校生支援のご依頼で、平成26年7月14、15日に小学校の多目的ホールに於いて段ボール迷路を設営し、全校児童に楽しんで頂きました。当初の心配を



よそに高学年も楽しんでくれて“ありがとう!”の言葉をたくさんもらい大変うれしく思いました。そして1年生、2年生の授業を受け持ち、私が作る段ボールベッドが被災された方々に使用され、体の痛みを少しでも和らげる事に役立っていると説明しました。また、追手門の児童目標である“高い学力、強い体、粘り強い心、親切”のうち初めの3つは自分が頑張る事で、親切は周りの人に対する事。学校で学んで身に付けた事を大人になって人の為に活かして下さい、とお話しました。



小学校音楽鑑賞会

追手門学院小学校 校長 東田 充司

73期卒業生で、世界で活躍される湯浅卓雄氏(東京芸術大学演奏芸術センター教授)をお招きし、10月28日に音楽鑑賞会が行われました。湯浅先生指揮、日本センチュリー交響楽団による迫力溢れる演奏が110記念ホールに繰り広げられました。山桜会会長である平泉憲一様をはじめとする山桜会員の皆様、保護者の皆様にもご参加いただきました。

「追手門学院歌によるオーケストラ入門」に続いての校歌斉唱では、50名を超えるオーケストラ演奏のもと、全校児童の歌声がホール一杯に響きました。



現役学生への期待

広報委員長
藤原 弘邦 (茨木高24期)

学生現役のところ、山桜会の存在すら認識していませんでした、友人から誘われ、山桜会新年会に参加し、山桜会評議員として参加させて頂く事に成りました。初めて大手前の校地に足を踏み入ってから十数年と成ります。茨木の高等学校のたった三年間の経験が、今の山桜会への関わりを運命付けている気がします。今年も昨年に引き続き運動関係の備品として、「姿見」「グラウンドならし」「グラウンド整備用トンボ」を贈呈致しました。現役学生のいろんな分野での活躍を大いに期待し、これからも応援させて頂きます。「山桜会って?」と思う学生さんたちも、卒業後また若い現役への応援が続く事を願っています。

